

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
専修学校 麻生ビューティーカレッジ		平成14年4月1日	林 宏治		〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目9-23 (電話) 092-735-3800		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日	麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999		
目的	本校は、美容技術に必要な知識技能を修得せしめ、社会に有為有能なる実践的人材を養成することを目的とする。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
衛生	衛生専門		ビューティースペシャリスト科 (ネイリストコース)		平成22年2月26日 告示第30号	—	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間		1818	180	786	852	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人の内数		11人		4人	14人	18人	
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■1学期:4月1日～ 8月31日</li> <li>■2学期:9月1日～12月31日</li> <li>■3学期:1月1日～ 3月31日</li> </ul>		成績評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績表: 有</li> <li>■成績評価の基準・方法 試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。</li> </ul>		
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■夏季: 8月1日～8月31日</li> <li>■冬季:12月19日～1月4日</li> <li>■春季: 3月6日～ 4月3日</li> </ul>		卒業・進級条件		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。</li> <li>・卒業基準検定を取得していること。</li> <li>・学年の出席率が90%以上であること。</li> <li>・学生としてふさわしい生活態度であること。</li> </ul>		
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■クラス担任制: 有</li> <li>■長期欠席者への指導等の対応 補講の実施、休学、留年</li> </ul>		課外活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>■課外活動の種類</li> <li>■サークル活動: 無</li> </ul>		
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主な就職先、業界等 百貨店・美容品販売メーカー・エステサロン・ネイルサロン</li> <li>■就職率<sup>※1</sup>: 100%</li> <li>■卒業者に占める就職者の割合<sup>※2</sup>: 100%</li> <li>干政27年度より科目名変更。メイク・エステ・ネイル科、メイクネイルコースの実績</li> <li>■その他</li> </ul>		主な資格・検定等		<ul style="list-style-type: none"> <li>ネイリスト技能検定</li> <li>日本エステティック協会認定エステシヤン</li> <li>ビューティーコーディネーター検定</li> </ul>		
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中途退学者 0名</li> <li>平成27年5月1日 在学者 6名 (平成27年4月 入学者を含む)</li> <li>平成28年3月31日 在学者 6名 (平成28年3月 卒業者を含む)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■中退率 0%</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中途退学の主な理由 進路変更(就職・転学・その他)、病気・けが、経済的理由、その他</li> </ul>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中退防止のための取組 学生ガイダンス実施マニュアルを作成し細かな面談の実施</li> </ul>						
ホームページ	<a href="http://www.asoju.ac.jp/abc/">http://www.asoju.ac.jp/abc/</a>						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

厚生労働省の指針に合わせ、美容・エステ業界で即戦力として活躍できる美容部員としての基礎をしっかりと学び、二年間で美容師国家資格取得を目指していく。また、トータルビューティを推奨する美容業界の動向に合わせ、基礎実習はもとより、正しい美容技術・ネイル・メイク・エステの施術ができる力をつけることを基本に、適宜編成委員会を開催し授業内容等について確認を行うとともに、企業等より実習の授業及び教員に対し専攻分野における実務に関する研修を組織的に行う。また、実務実習のもと企業(サロン)実習を行い、企業からの要望を伺い教育に生かしていく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名 前	所 属
高木 由紀	NPO法人日本ネイリスト協会 理事
松崎 成能	BOSCO 代表
林 宏治	専修学校麻生ビューティーカレッジ 校長
渡辺 博明	専修学校麻生ビューティーカレッジ 校長代行
金川 盛一	専修学校麻生ビューティーカレッジ 主任
野口 由紀子	専修学校麻生ビューティーカレッジ 教務

(開催日時)

第1回 平成27年 7月11日 10:00~11:00

第2回 平成28年 3月14日 10:00~11:00

平成28年度開催予定日 第1回 平成28年7月4日、第2回 平成28年9月

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

新聞による情報収集・情報分析を行うことにより学生の社会性と共同性を涵養し、又、就職活動を控えた学生に職業意識を意識させることを目的とする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ネイル実習	サロンワークに則した実践的なネイル技術及び知識を取得するとともに、より高度な資格検定であるネイリスト検定2級及び1級、ジェルネイル初級検定の取得を目指す。	NS-PROJECT株式会社

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名 前	所 属
高木 由紀	株式会社 ダリア 取締役営業本部 部長
藤野 善友	美容科6期卒業生
南 浩史	美容科2年在校生保護者
永末 里志	博多女子高等学校 学校長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka\\_abc.pdf](http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_abc.pdf)

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/> <http://www.asojuku.ac.jp/abc/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科) 平成28年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			メイク理論	1 化粧品の定義について 2 皮膚理論全般 3 皮膚の構造 4 真皮、表皮 5 日焼けのメカニズム 6 トラブルスキン 7 人相学	1年 2年 ・ 通年	30	○			○	○			
○			エステ理論	1 解剖生理学 2 化粧品学 3 カウンセリング	1年 ・ 通	30	○			○	○			
○			ネイル理論	1 爪の歴史、病気、名称 2 爪の化粧品学 3 消毒法、衛生管理、 カウンセリング	1年 2年 ・ 通	45	○			○	○			
○			栄養学	1 現代の食の問題 2 糖質 3 脂質 4 タンパク質 5 ビタミン、ミネラル 6 食物繊維、フィトケミカル 7 栄養価計算	1年 ・ 1,2学 2年 ・ 1学	45	○			○		○		
○			メイク実習	1 メイク理論及びスキンケア実習 2 ベースメイク実習 3 アイメイク実習 4 リップカラー、チークカラー実習 5 骨格修正メイク	1年 2年 ・ 通	120				○	○	○		
○			サロン実習	1 運営企画 2 広告、営業 3 店舗運営	1年 2年 ・ 通	330		○		○	○	○		
○			ネイル実習	1 ネイル理論 2 ネイルケア 3 ネイルカラー 4 ネイルアート	1年 2年 ・ 通	480				○	○	○	○	○
○			エステ実習	1 エステティック理論 2 スキンケア実習 3 フェイシャルエステ実習 4 ヘッドマッサージ実習	1年 ・ 1学 2年 ・ 1,2学	120				○	○	○		
○			着付け	1 小物の名称、準備、着物の歴史 2 自分に着付ける 3 人に着付ける	1年,2年 ・ 1学	36				○	○		○	

○		ヘアアレンジ	1 ゴムの結び方、土台、面の作り方 2 編み込み（表編み、裏編み、片編み） 3 アイロン、ホットカーラーの使い方 4 逆毛、ピニング、シニヨン 5 夜会巻き	1年・2学 2年 1,2学	36				○	○	○	○	
○		カラーコーディネイト	1 色とトレンド 2 パーソナルカラー 3 色の分類、色相、明度、彩度 4 色の心理効果 5 配色、色とバランス	1年,2年 通	75				○	○			○
○		ファッションコーディネイト	1 デザイン造形のセオリー 2 カラーコーディネイト 3 ファッションイメージの分類 4 ファブリック 5 ファッショントレンド	1年,2年 通	60				○	○			○
○		ビューティーコーディネイト	1 BCの役割 2 フロアマネジメント 3 美容知識	1年,2年 通	60				○	○			○
○		スタイリングマップ	1 色と形と素材の関係 2 個性分析	2年 1学,2学	30				○	○			○
○		デッサン	1 鉛筆描画 2 自画像制作 3 ライフマスク制作 4 色彩学、スタイル画制作	1年 2学,3学 2年 通	111				○	○			○
○		接遇	1 言葉遣い（敬語の使い方） 2 社会人としてのマナー（立居振舞い） 3 接客用語 4 顧客心理 5 電話対応 6 ビジネス文書	1年 1学,2学 2年 通	45				○	○			○
○		教養基礎	1 国語（漢字、四文字熟語、文学史） 2 数学（消費税、損益算、鶴亀算） 3 時事（国際、地理、法律、経済）	1年 2学,3学	30			○		○			○
○		就職実務	1 就職までの流れに関する講義 2 就職活動時の注意点に関する講義 3 履歴書及び面接対策に関する演習	1年 通 2年 1,2学	60				○	○			○
○		グローバルシチズンベーシック	1 感謝心と思いやり 2 志を立てる	1年 1学 2年 1学	30				○	○			○
○		総合学習	1 企業セミナーの受講 2 福祉ボランティアへの参加 3 社会貢献事業への参加	1年 2年 通	45				○	○			○
合計				20 科目	1818単位時間( 単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年における該当学科の指定課目をすべて履修・修得していること。</li> <li>卒業基準検定を取得していること。</li> <li>学年の出席率が90%以上であること。</li> <li>学生としてふさわしい生活態度であること。</li> </ul>		1学年の学期区分	3期
		1学期の授業期間	14週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。